MAXELE Project

マゼル・プロジェクトは、"Society 5.0" の最も強力な推進機構です。
そしてそのビジョンは、"SDGs" に限りなく準拠しています。

創造力を未来のために

「沸き起こる情熱のままに生きたい」という、人々の基本的欲求に応えます。
発明された " 貨幣生成アルゴリズム " の作用によって誕生する、" マゼル・ネット ®"、
" インターヴァース ®"、及び " インターカレンシー ®" という ICT プラットフォーム。
これは、従来の金融システムを含む情報流通メカニズムの課題を根本から解消した、
相関性を最適化させるためのミディアムです。
私たちは、日常に存在する数多の要素を適切につなぎ合わせるミディアムとしての ICT
プラットフォームを社会に実装させることによって、世の中の相関性を最適化させ、
創造される価値を最大化させます。

ミディアムとは、例えば、文字や、貨幣や、水や、空気など、それぞれをつなぐ間にあって、すべてを充たす最も大切なもの。ミディアムを適切に機能させるとき、それぞれの相関性は最適化され、創造される価値は最大化します。

私たちが提供するもの。それは、新時代のためのミディアムです。

MAXELE Inc.
代表取締役 & Founder 渡邊 和豊

背景

私たち人類の生きる、この地球。そして、すべてをつなぐ時空。例えば、＂水＂や＂空気＂は、とても大きく循環する＂ミディアム＂として、私たち人類はもとより、すべての生命活動を支える基盤として機能しています。

時空を共有したミディアムの循環によって生じる過去と未来、そして現在。
絶え間なく循環し続けるミディアムこそが、
今、この時を生じさせる原因です。
それは、コミュニティ―や経済を含む、私たちの社会も同じでした。

課題

経済摩擦、金融危機、自己目的化、社会不安、負債の奴隷、そして戦争。
阻害、廃絶、保身、格差、独占、抑圧、国家主義、ポピュリズム、そして絶望。

役目を果たしきれないマス・メディア、目が澄んでいないテック企業、脱皮できないフィンテック、制度疲労を起こす通貨、そして暴走するイズム。
努力し、成果を上げても報われない社会。情熱がチャンスではなく、
リスクになってしまう社会。「Return > Growth」が示す真実。
考えてください。あなたに資産がないとき、あなたの子孫は未来で幸せですか？
すべては、ミディアムが壊れかけていることを示していました。

エッセンシャル・ソリューション

"マゼル・プロジェクト"

すべてを充たすミディアム

― Society 5.0 を支えるプラットフォーム ―

MAXELE NET®

リサーチャーの情熱を結集させるオープン・イノベーション・プラットフォーム

" マゼル・ネット ®" とは、発明された " 貨幣生成アルゴリズム（Dual circulating mechanism）" の存在によって誕生する、リサーチャーをつなぐ SNS です。

" ゼロ・スキーム " という、かつてないビジネス・モデル。創出される研究成果と生じる経済価値とのシナジーを最大化させるメカニズム。

これらは､未来に誕生する " インターヴァース ®" と " インターカレンシー ®" とをブラッシュアップさせる役目を果たします。

新しいミディアムが循環を起こす始まりです。

INTERVERSE® & INTERCURRENCY®

沸き起こる情熱のままに生きる権利を約束するフィンテック・インフラ " インターヴァース ®" と " インターカレンシー ®" とは、" マゼル・ネット ®" が変容した未来の姿であり、貨幣情報を含む価値の循環を支える ICT プラットフォームです。

" インターヴァース ®" という、無償価値をも媒介可能な独自貨幣の流通する、かつてないスケールのサイバー・スペース。ブロック・チェーンを用いて実社会に流通する第 2 価値交換媒体と、" インターヴァー ス ®" に流通する第 1 価値交換媒体との "Dual circulating mechanism" によって誕生する、究極の通貨 " インターカレンシー ®"。

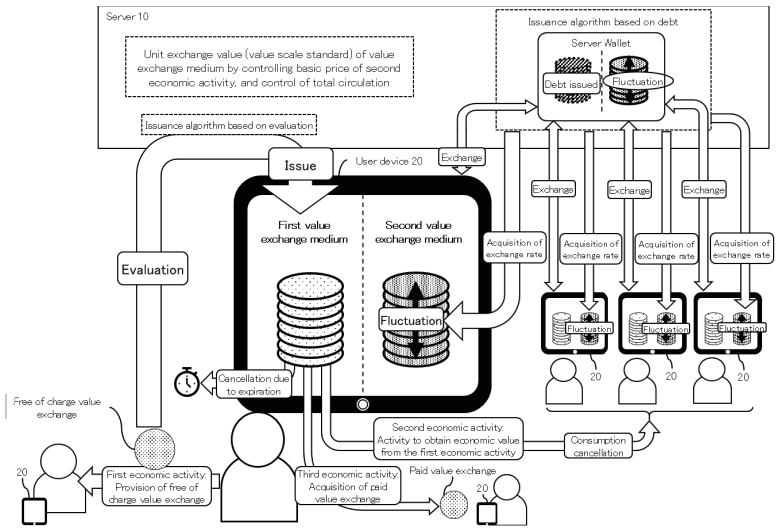
これらは、一体不可分のインフラとして、人々の生活や事業活動を豊かにします。

相関性を最適化させるミディアムの誕生です。

コア・コンピタンス

― ミディアムを循環させ続けるテクノロジー ―

Dual circulating mechanism



Patent Base : International Application No. : PCT/JP2019/019007

"Dual circulating mechanism" とは、フィジカルとサイバーとの２つのネットワークを一体的に構成することによって、自律的に優れたミディアムを循環させる、重層化された情報流通メカニズムです。
評価に含まれる購買力を価値交換媒体に本位させるアルゴリズム。内生的に価値交換媒体の単位交換価値 (単位当たりの購買力の大きさ) をコントロールするアルゴリズム。無限に価値交換媒体の創造を可能とするメカニズム。これらは、かつてない究極の価値交換媒体の誕生を示しています。

発明の技術的効果

― 本位貨幣を自家生成することの意義 ―

・外生的な為替メカニズムと強制通用力とに依存することなく、自らのネットワークのみで内生的、且つ自律的に貨幣価値を制御することができるようになりました。

・従来通貨の脆弱性によるインフレやデフレ等の概念から解放され、貨幣価値と物価とを切り離して制御することができるようになりました。

・貨幣を価値の度量衡として取り扱うことができるようになりました。

・通貨流通速度を増加させ、退蔵貨幣を減少させることができるようになりました。

・増大し続ける債務 (貨幣数量で表す借方) に含まれる購買力の大きさを任意に減少させることができるようになると同時に、流通する貨幣全体の購買力の総量を維持させることができるようになりました。

・貨幣を獲得しようとするインセンティブを減少させることなく、貨幣を使用 (消費) しようとするインセンティブを増加させることができるようになりました。

・記者等による報道活動と、事業者等による広告宣伝活動やデータ収集活動とを、経済価値の相関性としては一体的に機能させながらも、関係性は分離して機能させることができるようになりました。

・「Growth > Return」を実現させることができるようになりました。

・国家主権を脅かすことなく、購買力の異なる複数の国家にまたがる統一経済圏を構築することができるようになりました。

かつてない機能を発揮する、無限に創造可能な本位貨幣の誕生です。

コミットメント

― 私たちが見据える未来 ―

近年、研究開発が進んでいるフィンテック

・中央銀行デジタル通貨（ＣＢＤＣ）
・仮想通貨（暗号資産）
・トークン・エコノミー
・電子決済サービス

これらは、デバイス、及びネットワーク技術の進歩がもたらした成果です。
その更に先を、そして未だ解決されることのない根本課題を見据える、まったく新しい、
かつてない取り組み、マゼル・プロジェクト。
そのビジョンは、"Society 5.0" を完全にサポートし、そして "SDGs" に限りなく準拠しています。

私たちは、発明されたフィンテック・テクノロジー "Dual Circulating Mechanism" を用いて、
新時代を切り開きます。

MAXELE Project

www.maxele.net